



令和4年7月11日
北区立さくらだこども園

いろいろな水遊び

水を使った砂遊び、色水遊び、泡遊び、泥遊び…など様々な水遊びを楽しんでいます。色水遊びでは、クレープ紙という紙を水につけて指先で揉み、水に色をつけて遊んでいます。「青と黄色を混ぜたら、緑になった!」「水をいっぱい入れたらちょっとしか色がつかない…」と、様々な発見をしながら、いくつもの色の水を嬉しそうに並べています。泡遊びでは、泡立てネットで石けんを泡立て、石けんや泡の感触を楽しんだり、作った泡をクリームに見立てて色水に乗せ、ジュース屋さんごっこを楽しんだりしています。「水をつけるとあわあわになるよ」「いっぱい入れると、とろとろになる!」と、自分で気付いたことをつぶやきながら、楽しそうに泡立てたり、しばらくすると泡が消えていく様子を不思議そうに見ていたりしています。



大人にとっては、“当たり前”のことも、子どもたちにとっては“大発見”です。すぐに答えにたどり着くことよりも、「これは何?」「なんでできないんだろう?」「こうしてみようかな?」「こんなものができた!」と、心を動かしながら体験していくことを大切にしています。子どもたちの気持ちに寄り添いながら、一緒に見て、触って、考えていきたいと思ひます。

野菜の栽培

保育室前のプランターで野菜を育てています。7月1日(金)には、枝豆を栄養士の佐藤先生に調理してもらい、給食で食べました。毎日水やりをして、トマトの色が変わる様子に気付いたり、インゲンが暑さで半分ほど枯れてしまったことを残念に思ったりしていました。野菜が苦手だと感じている子もいますが、自分たちで育てたものを収穫することや、調理する人の手を通して食べられることの喜びや感謝の気持ちを感じられるようにしていきたいと思ひます。



おたんじょうびおめでとう